

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第 56 号(通巻 81 号) 2020 年 1 月 17 日発行

〒183-8534

東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学 大学院総合国際学研究所

三宅登之研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目 次

1. 第 18 回全国大会発表募集
2. 2019 年度第 2 回理事会報告
3. 事務局からのお知らせとお願い

1. 第 18 回全国大会発表募集

中国語教育学会第 18 回全国大会は、2020 年 6 月 6 日（土）、7 日（日）に大東文化大学で開催されます。大会概要は下記の Web ページをご覧ください。

<http://www.jacle.org/annual/>

第 16 回全国大会の発表申込み期間は 2020 年 2 月 1 日から 2 月 20 日 23:00（日本時間）です。

発表申込み前に必ず下記の学会ウェブサイトにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<http://www.jacle.org/application2019/>

発表申込みは 2020 年 1 月 31 日の時点で 2019 年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方は早めにご入金ください。なお、本学会の年度は 4 月に始まり、翌年 3 月に終わります。2019 年度は 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までです。

Web 版会員名簿（会員情報管理システム）を通じて、会員ご自身で会費納入状況を確認することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

2. 2019 年度第 2 回理事会報告（以下の報告内の日程等は理事会当日における報告内容です。）

2.1. 開催日時・場所・出席者

日時：2019 年 12 月 1 日（日）13:30-16:30

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 16 号館 609 教室

出席者（敬称略）：

三宅登之、郭春貴、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、佐々木勲人、鈴木慎吾、中西千香、西香織、平山邦彦、藤井達也、丸尾誠（兼『中国語教育』18 号(2019 年度)編集委員会委員長）、村上公一、山田眞一（以上理事）

氷野善寛（デジタルリソース委員会委員長）

山口直人(第18回全国大会(2020年度)準備委員会委員長)

伊藤大輔、李軼倫、渡邊奈津子(以上幹事)

2.2. 報告事項

2.2.1. 『中国語教育』第18号査読結果について

『中国語教育』第18号査読結果について、全部で16本の投稿があり、14本を受理したこと、および依頼原稿2本、論文3本、実践報告1本が掲載予定であることが報告された。

2.2.2. 日本語参考文献の並べ方について

会誌『中国語教育』の原稿における参考文献の並べ方について以下の報告がなされた。

執筆要領では「日本語文献、中国語文献、欧文文献にグルーピングし、それぞれアルファベット順に記載する。」となっているものの、過去の学会誌を見ると50音順の体裁のものが混在している(なお、上記文言はウェブ版上にあり。学会誌は「一部抜粋」のため記載がなく、ウェブサイトを参照するよう指示がある)。編集委員会で審議した結果、現状(アルファベット順)のままとすることと決まった。

2.2.3. 第17回全国大会(2019年度)開催報告(会計)

第17回全国大会について以下の会計報告がなされた。

収入

大会開催費(事務局より)	¥500,000
大会参加費(事前申込会員103名・非会員7名,当日参加22名)	
参加費事前¥3,000×103、当日¥3,500×20 当日予稿無し¥3,000×2	¥409,500
書店・出版社出店料(13社)	¥47,000
懇親会費	¥308,000
弁当費	¥78,000
宿泊関連費	¥47,500
	計 ¥1,390,000

支出

振込手数料	¥2,520
会場使用費(天理大学)	¥56,400
大会案内発送費(あゆみコーポレーション)	¥87,415
予稿集印刷費(150部・遊文舎)	¥104,328
懇親会費(90人分)	¥376,470
弁当費(1日目54個、2日目80個×¥1,000)	¥134,000

1 日目¥54,000、2 日目¥80,000

人件費

大会当日：非会員教員（2 日×2 人×¥10,000）

大会当日：学生（2 日×13 人×8,000 円）

事前準備：非会員教員（4 日×1 人×5,000 円） ¥268,000

講師費（講演講師 23,000×3 名）※交通費込み

謝金（交通費込）¥61,956（¥20,652×3 人）

源泉徴収¥7,044（¥2348×3 人） ¥69,000

交通費（準備委員会打ち合わせ） ¥68,960

開催用小物代 ¥20,842

宿泊関連費（宿泊費＋諸経費） ¥49,660

大会事前打ち合わせ費 ¥18,620

休憩室グッズ（お茶、菓子、紙コップ等） ¥8,364

送料 ¥2,875

計 ¥1,267,454

残高（事務局に返金） ¥122,546

2.2.4. 第 18 回全国大会（2020 年度）準備委員会準備状況報告

同大会の準備状況について以下の報告がなされた。

1. 開催時期と会場について

日時：2020 年 6 月 6 日（土）、7 日（日）

場所：大東文化大学板橋キャンパス（添付：大東大アクセスマップ参照）

2. プログラム（添付：第 18 回全国大会プログラム（案）参照）

【1 日目（6 月 6 日）】

（1）講演

（題目未定）

慶應義塾大学 吉川龍生

（2）シンポジウム：これからの中国語教育

* 高校中国語教育の状況（仮題）

和光国際高等学校 藤井達也

* 大阪の府立高校における中国語教育の現状と課題（仮題）

大阪府立門真なみはや高等学校 柳素子

* 多様化する中国語学習者とその対策

大東文化大学 山口直人

*中国語強化クラス授業の一実践（仮題）

筑波大学（非常勤講師） 金成姫

【2日目（6月7日）】

（1）分科会発表：発表時間 20 分、質疑応答 10 分。午前 2 会場、午後 3 会場開催予定

（2）ポスター発表：発表時間 40～50 分

3. 今後のスケジュール

2019 年	12/20	ウェブページに第 18 回全国大会の告知開始
2020 年	1/15	会報に大会案内と発表応募要項を掲載して発行（学会事務局）
	2/1～20	発表申込受付期間
	3/10	発表採択者の決定
	4/20	大会プログラムの発送
	4/23	予稿集原稿締め切り
	4/24～5/15	予稿集編集
	4/24～5/14	事前申込期間（参加申込の後のキャンセル（振込手数料を除いた参加費の返金）は 5 月 14 日受付終了日までなら可）
	5/15～20	予稿集印刷&ウェブ掲載開始 司会担当者にメールで担当分のみ別途送付
	6/6～7	大会当日

4. 学会託児について

各自で東武練馬・西台付近の託児所に預け、後日領収書を提出してもらおう。学会が定める補助金額の範囲内で、託児料金の半額までを学会が補助する。学会が補助する上限額は東武練馬・西台付近の託児所の時間費用を参考に決定する予定。なお、学会託児に関する補助は学会員のみとする。

5. その他

（1）発表の種類と応募方法

発表形態は 1) 分科会発表、2) ポスター発表のいずれかとする。

応募は大会準備委員会が指定する期間に、「申込表」と「発表要旨」（1000 字）を提出する。

（2）発表応募時期

理事会終了後、ウェブページ、ニューズレター等で広報を開始し、2020 年 2 月 1 日から 2 月 20 日 23:00（日本時間）の期間に申し込みをメールで受け付ける。

（3）大会参加費について

事前申し込み：会員 3,000 円／非会員 3,500 円

当日申し込み：3,500円（会員／非会員ともに）

出店料：3,000円（会員団体）、5,000円（非会員団体）

1日目懇親会：4,000円

（４）予稿集について

「デジタル版」と「紙版」を作成。発表予定者には「執筆要領」に従い原稿の提出を求める。

「デジタル版」は大会およそ1週間前から学会ウェブページに掲載。

デジタル化に際して発表申込時に「申込書」に「電子化してウェブで公開することに同意する」という旨の一文を入れ事前に同意をとる。

（５）懇親会について

日時：1日目プログラム終了後

場所：グリーンスポット（大学図書館下）

（６）キャンセルについて

事前申込をした人が参加のキャンセルを求めた場合、（振込手数料を除いた）参加費の返金は、5月14日受付終了日までなら可。

（７）同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合

同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合、それぞれの発表内容が異なれば問題ないが、同じ内容であれば認めないこととしたい。したがって、募集要項に「同一内容の発表を分割して発表することは原則として認めない」の文言を入れる。

（８）発表時の使用言語

発表の申し込みの際に発表時の使用言語を書き込む欄を作る。申し込んだ使用言語以外は発表時認めない。

2.2.5. 第19回（2021年度）全国大会について

第19回全国大会の開催校と大会準備委員会が以下のように内定したことが報告された（敬称略）。

場所：関西外国語大学御殿山キャンパス・グローバルタウン

（〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6-1）

日程は未定

大会準備委員会：中村俊弘（委員長）、他の委員は人選中。

2.2.6. 研究会開催報告及び今後の研究会開催予定

今年度の研究会について以下の報告がなされた。

【終了分】

2019 年度第 1 回研究会 中国語教育研修会「春学期をふりかえる」

日時：2019 年 7 月 20 日（土） 12：50 受付開始 13：20～17：00

場所：愛知大学名古屋キャンパス講義棟 801 教室

プログラム

13:20～13:50 趣旨説明

授業に使う副教材について一現行教科書に追加できるものとは 中西千香（立命館大学）

13:50～14:20

中国語教師の「基礎」を考える 西村英希（香港科技大学）→ご都合により欠席

14：30～15：20

音声教育を支える知識、文法教育を支える文法観 丸尾誠（名古屋大学）

15:30～16:20

初級から中級へ—語彙と文法のチェックポイント 荒川清秀（愛知大学）

16:30～16:50 質疑応答 全体討論

参加者：75 名（会員 39 名、非会員 36 名）

2019 年度第 2 回研究会 共催：目白大学中国語学科

日時：2019 年 7 月 27 日（土） 14:00～16:30

場所：目白大学

プログラム

14：00～14：45 学習者の意欲を引き出すルーブリック—高校、大学の実践から— 若森幸子（埼玉県立戸田翔陽高等学校・非）

14：45～15：30 日本中文系大學生台湾長期留學後的感想調査 樂大維（拓殖大学・非）

15：45～16：30

高校における中国語教育の一事例—多様な生徒への教育の私案— 仇曉芸（十文字学園女子大学）

参加者：29 名

2019 年度第 3 回研究会 中国語教育研修会「秋学期をのりきる」

日時：2019 年 10 月 12 日土曜日 13：00 受付開始 13：30～17：00

場所：福岡大学文系センター棟 15F 第 7 会議室

プログラム

13:30～14:10

フィードバック：発音指導スキルをあげるためのワークショップ 中西千香（立命館大学）、紅粉芳恵（大阪産業大学）、阿部慎太郎（近畿大学）

14:10～14:50

初級中国語授業におけるコミュニケーション能力育成について 謝平（福岡大学）

15:00～15:40

聴解力育成のための試案—TPR の実践とその効果 勝川裕子（名古屋大学）

15:40～16:20

補語の教授法について考える 丸尾誠（名古屋大学）

16:30～16:50 質疑応答 全体討論

参加者数：31名（会員17名、非会員14名）

【今後の予定】

2019年度第4回研究会

日時：2019年12月21日（土）

場所：麗澤大学あすなろ校舎 2311 教室

プログラム

14:00～14:45 中国語「速読」の実践報告—本学中国語専攻3年生の録音データをもとに 齋藤貴志（麗澤大学）

14:45～15:30

テスト分析から見る第二外国語履修者の中国語の習得状況—麗澤大学における初級クラスを中心に 中司梢（麗澤大学）

15:45～16:30

日本人中国語学習者の謝罪表現における誤用：教員に対する発話を例として 温琳（麗澤大学）

2019年度第5回研究会

「日本語母語話者のための中国語教育文法を考える—「何を」「どう」学ぶか—」

日時：2020年3月7日（土） 13:10 開場、13:30 開始（16:40 終了予定）

場所：大阪大学中之島センター301室

1. ユーザー視点の中国語教育文法が提供すべき情報とは—学習者の“是……的”構文使用状況から—
鈴木慶夏（神奈川大学）
2. 語法点引入時の話題と场景选择—以教材中差比句的处理为例 张恒悦（大阪大学）
3. データから見る日本語比較表現の実態 岩田一成（聖心女子大学）
4. データから見る中国語比較表現の実態 西香織（明治学院大学）
5. 「比べて選ぶ」ための教案—“货比三家” ネットショッピングサイトを利用して学ぶ—
清原和代（大阪府立大学）
6. コミュニケーションでの使用を目的とした文法項目の導入とは—応答語“对”“是/不是”“動詞/不+動詞”を例に—
中田聡美（大阪大学）
7. 多機能語の感性的教授法について—“把”のコアイメージを例として—
古川裕（大阪大学）

2.2.7. デジタルリソース委員会報告

デジタルリソース委員会の活動について以下の報告がなされた。

2.2.7.1. 学会ウェブサイトの更新について

デジタルリソース委員会では、定期的に Web サイトの更新作業を実施しており、2019年6月に開催された前回の理事会以降、以下の点について更新作業を行っている。

「全国大会」…第17回全国大会のページをアーカイブに移動し、第18回全国大会の情報を掲載する

とともに、第 18 回大会用のアドレスを作成した。

「研究会・講演会」…2019 年度第 1 回～第 4 回の開催プログラム及び概要（発表要旨）を公開。

「会報」…『中国語教育学会会報』第 55 号を掲載。

「役員・委員」…第 18 回全国大会準備委員会のメンバーを追加。

2.2.7.2. 外部団体等からの掲載依頼

外部団体のイベント告知及び大学等公募情報の掲載依頼があり、いずれも学会の Web サイト掲載することに問題のない内容であり、また、会員からの掲載依頼であるため、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した。

○日本漢字学会 第 2 回 研究大会 (10/15-12/1)

○ワークショップ「外国語担当教員の成長を促す授業参観」(8/8-9/20)

○中国語学セミナー(7/1-9/7)

○第 18 回外国語教育実践フォーラム会合

「言語教育におけるインクルージョンを考える～当事者の声を聴く」(6/30-8/31)

○公募情報：海上保安大学校教官公募（中国語）(10/10～11/18)

○公募情報：立教大学（専任教員の公募について）(7/14～9/5)

○公募情報：龍谷大学法学部（8/2～10/2）※（ ）内は掲載期間

2.2.7.3. 会員用メーリングリストへのメンバーの登録と削除、アドレスの変更

学会事務局からの連絡に基づき、ML への登録、削除を行っている。

新入会員は会員登録完了のメールが到着次第登録している。変更は随時対応しており、6 月以降は 6 名のアドレス変更を行った。

2.2.7.4. サーバーの表示速度の問題

前回のウェブリニューアル時に、スマホ対応とウェブ上での更新を円滑に行うため Wordpress の導入を行った。結果として、現在のレンタルサーバーのスペックでは表示速度に若干の遅延が生じることが判明している。

2.2.8. 会員動向および会費納入状況（会費未納による除籍者報告）

会員動向および会費納入状況について報告がなされた。内訳については 3.1 を参照のこと。

2.3. 審議事項

2.3.1. 会長および理事の選出について

2020 年～2021 年理事選挙の開票結果（開票証明書は巻末の資料 1 を参照）に基づき、「会長、理事の選出に関する内規」の規定により理事候補とされる会員が以下の通り提示された（敬称略）。最終的には、全候補の理事就任、および会長未経験者のうち得票数が最多であった丸尾会員の次期会長就任が決定した。

投票数：117

有効投票数：107

無効投票数：10（指定の中封筒を使用しなかったもの：6、会員氏名欄に氏名がなかったもの：4）
開票結果（票数の後ろの※は会長経験者。票数が同数の場合は氏名の五十音順で配列。以下、敬称略。）

- 1位：古川裕 38※
- 2位：丸尾誠 37
- 3位：加藤晴子 32
- 4位：中西千香 30
- 5位：三宅登之 29※
- 6位：平井和之 24※
- 7位：清原文代 21※
- 7位：村上公一 21
- 9位：植村麻紀子 20
- 10位：鈴木慶夏 17
- 10位：西香織 17
- 10位：氷野善寛 17

2.3.2. 『中国語教育』第19号(2020年度)編集委員選出について

『中国語教育』第19号(2020年度)編集委員が以下の通り決議された（敬称略）。

〈2年目〉

安藤好恵（大東文化大学）【委員長】

阿部慎太郎（近畿大学）

兪鳴蒙（摂南大学）（中国語話者）

郭春貴（広島修道大学）【理事枠】

〈1年目〉

紅粉芳恵（大阪産業大学）

長谷川賢（立命館大学）

安本真弓（跡見学園女子大学）（中国語話者）

未定【理事枠】

2.3.3. 『中国語教育』執筆要領と投稿規程の変更について

『中国語教育』執筆要領および投稿規程に以下の変更を加えることが決議された。

（1）執筆要領の変更について

投稿原稿を査読する際の匿名性を確保するために、下記の文言の追加を提案する。

執筆要領

6. 注意事項

投稿時には謝辞のたぐいは書かないこと。（謝辞や補助金などに関する記述は、印刷初校段階において、執筆要領に示す制限枚数の許す範囲内で加えてよい。）また、投稿原稿の本文及び注において、

執筆者を特定し得る記述を避けること。例えば「筆者は〇〇2019において…」(〇〇は筆者の姓)のような書き方をしないよう留意する。

なお、この追加により、「2019年12月一部改訂」も追記する。

(2) 投稿規程の文言の変更について

より適切な記述にするために、下記の文言の修正を提案する。

投稿規程

現在

7. 送付された原稿のプリントアウトは採否にかかわらず返却しない。

修正後

7. 送付されたプリントアウト原稿は採否にかかわらず返却しない。

なお、この変更により、「2019年12月一部改訂」も追記する。

2.3.4. 内規の改正について

「デジタルリソース委員会に関する内規」に以下の変更を加えることが決議された。

項目2.

(改正前) 委員会は3名のデジタルリソース委員会委員(以下「委員」と称す)をもって構成する。

(改正後) 委員会は3名以上のデジタルリソース委員会委員(以下「委員」と称す)をもって構成する。

2.3.5. デジタルリソース委員会 2020~2021 年度委員選出について

デジタルリソース委員会 2020~2021 年度委員が以下の通り決議された(敬称略)。

委員長: 中田聡美

委員: 伊藤大輔(新任)・田邊鉄・氷野善寛

2.3.6. 世界漢語教学学会における本学会の扱いについて

本学会が世界漢語教学学会を退会することが決議された。

2.3.7. 著作権規程について

著作権規程の制定に向け、編集委員会の下部組織として時限的な作業部会(ワーキンググループ)を作り、そこで試案を作り、編集委員会に上げて、理事会に提案するというプロセスの検討を始めることが決議された。

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1. 会員動向及び会費納入状況

以下敬称略。

(1) 会員数(2019年11月21日現在): 計517名

(通常会員486名、名誉会員31名/個人会員498名、団体会員19名)

(2)新入会員（2019年4月1日～2019年11月21日）：計23名

石田智裕（東京外国語大学・院）、尹得霞（東北大学教育学研究科 先端教育研究実践センター）、王維亭（千葉大学）、王淑貞（株式会社法学館）、許賢科（名古屋大学・院）、胡良娜（東京外国語大学・院）、駒崎達也（華東政法大学）、笹野和恵（神奈川県立磯子高等学校・非）、謝展眉（神戸大学国際文化学術研究科・院）、申慧敏（大阪大学・院）、孫曉丹（株式会社アート知育中国語）、単艾婷（九州大学・非）、張鳴浩（早稲田大学高等学院・非）、中島一樹（北京大学 対外漢語教育学院 言語学及び応用言語学専攻・院）、中司梢（麗澤大学）、中村治（佛教大学中国語高校1種教員免許課程）、西村英希（香港科技大学）、馬瑜瑤（大阪大学言語文化研究科・院）、馬小菲、三松国宏（中央大学全学連携教育機構・非/目白大学大学院言語文化研究科・院）、李静（青山国際教育学院・非）、李媛（京都佛教大学・院）、刘温雯（関西外国語大学・院）

(3)退会者（2019年4月1日～2019年11月21日）：計5名

(4)除籍者：計3名

西川和男（関西大学外国語学部）、星健一（中央大学・非）、劉小俊（京都女子大学文学部）

(5)会費納入状況（2019年11月21日現在）：2,120,000円

3.2. 会費納入のお願い

平素より会費納入にご協力いただきありがとうございます。

会費未納の方にはお早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身でWeb版会員名簿（会員情報管理システム）にて確認することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください。

[口座記号-口座番号] 00110-1-191152

[加入者名] 中国語教育学会

3.3. 登録情報の変更について

登録情報（住所・所属・メールアドレス等）に変更がある場合は、会員自身がWeb版会員名簿（会員情報管理システム）を使って随時変更することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

会員名簿および会誌の発送を間近に控えておりますので、住所に変更がある場合はお早めに手続きをお願いいたします。

Web版会員名簿（会員情報管理システム）の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web版会員名簿に関するお問合せは下記のあゆみコーポレーションまでお願いいたします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail support@jacle.org

TEL. 06-6441-5260（代） FAX. 06-6441-2055（代）

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局業務の代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということをお伝えください。

3.4. 事務局の移転予定について

会長交代に伴い、2020年4月1日より事務局が下記に移転する予定です。なお、メールアドレスや学会 Web サイトの URL は変わりません。

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院人文学研究科 丸尾誠研究室内

中国語教育学会事務局

E-Mail headoffice@jacle.org

Website <http://www.jacle.org/>

記

【選挙名】中国語教育学会 2020 年～2021 年理事選挙

【開票日時】2019 年 11 月 22 日（金）18 時より

【開票場所】東京外国語大学府中キャンパス研究講義棟 8 階 822 研究室

投票数：117

有効投票数：107

無効投票数：10（指定の中封筒を使用しなかったもの：6、会員氏名欄に氏名がなかったもの：4）

開票結果

1 位：古川裕 38

2 位：丸尾誠 37

3 位：加藤晴子 32

4 位：中西千香 30

5 位：三宅登之 29

6 位：平井和之 24

7 位：清原文代 21

7 位：村上公一 21

9 位：植村麻紀子 20


10 位：鈴木慶夏 17

10 位：西香織 17

10 位：氷野善寛 17

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

開票立会人

加藤 晴子 

藤井 達也 

以上